

くらしのまるごと相談窓口を開設しました

組織の垣根を越えて

私は自治体のトップとしてこれまで、いわゆる役所の縦割りの垣根を取り払うことに意を用いてまいりました。

社会的な課題の増大に伴って、役所の組織や担当業務も複雑化して、多くの区民の方にとっては、どこに相談したらよいかわからない事態を招いていました。また、そもそも相談先が区役所なのか、国や東京都なのか、はたまた民間企業なのか、目の前の困りごとに対して、適切な相談先を探すことだけでも大変なことです。

そこで、就任当初の平成22年4月から区民の皆様の困りごとに対して「すぐやる」「よく聞く」「よい対応」をモットーとする「すぐやる課」という組織を立ち上げ、迅速に対応することはもとより、困難な相談ごとでも相手に寄り添って一緒に解決策を模索してまいりました。これまでに受け付けた皆様からの相談は4万件を超えております。

この姿勢をさらに推し進めて

近年では、ヤングケアラーやダブルケア、8050問題など、区民の困りごとや心配ごとは複合的になっていきます。こうした子育て、障害、介護、家計不安などに関し、相談先がわからない方や複数の困りごとをまとめて相談したい方などに対して、「世帯単位」でまるごと受け止める窓口を5月8日に開設しました。



葛飾区長 青木かつのり

福祉専門職が寄り添う窓口

くらしのまるごと相談窓口では、福祉の専門職員を配置するとともに、社会福祉協議会からも職員を派遣してもらい、社会福祉協議会が実施している事業との連携を強化しています。

寄せられた相談例

窓口開設後、実際にどのような相談が寄せられたか、具体的な事例をご紹介します。今後の相談窓口の利用の参考にしてみてください。

- ・三世代家族で、親の介護や障害、子どもの不登校が重なる
- ・引きこもりの子どもと同居。自分も高齢になり今後が不安
- ・母親が外国籍で、子どもが各種手続きを代行するなど学校生活に支障

地域で連携・協働して課題解決

事例にもあるような複合的な困りごとは、一朝一夕には解決が困難かもしれないですが、区では粘り強く、関係する支援機関や民生委員・児童委員など地域の皆様と連携した支援や、こちらから自宅に向く支援など、各世帯の実情に応じた支援を行ってまいりますので、困りごとがございましたら、まずはご相談ください。

◆相談先 くらしのまるごと相談課

- ◆区役所3階 312番窓口
- ◆電話 03-5654-8560

開設後の相談実績

5月8日～6月30日

内 訳	件 数
電話相談	325 件
窓口相談	242 件

学校外の屋内温水プールでの水泳指導

令和5年度 24校に拡大

23区初の取り組み

葛飾区では、令和4年度から学校外の屋内温水プールを活用した水泳指導を区立学校12校ではじめました。これは、近年の猛暑や長雨など天候の影響で計画的な授業が困難になっている水泳指導を円滑に行い、教員の負担を軽減するために行ったものです。

教員の9割以上が評価

令和4年度に屋内温水プールでの水泳指導を行った学校の校長・副校長・教員・児童を対象に実施したアンケートでは、実に、教員の98.2%が「今後の屋内温水プールで実施するのがよい」と評価しています。

東京23区の先頭を切って

学校給食費の完全無償化を実現！

人間にとって、「食」は欠かすことのできない大切な営みです。

社会経済状況の変化に伴い食材価格が高騰する中、学校給食を安定的に提供し、葛飾区立の小・中学校に通う子どもたちの心身の健全な発達を促し、子育て家庭の支援をさらに推し進めるために、学校給食費の完全無償化を令和5年4月から実施しています。葛飾区が率先して昨年9月に表明した反響は大きく、23区でも約7割の自治体が学校給食費の無償化を開始、または、検討している状況になっています。

葛飾区の学校給食は様々な工夫を凝らしており、季節の行事に合わせた献立や日本全国の郷土料理、地産地消の一環として区内産の小松菜給食などを提供しています。

今後とも、子どもたちの成長のため、学校給食の充実を図ってまいります。

▼保護者負担額を全額区が負担

区分	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年	
給食費 (月額)	4,800 円	5,300 円	5,700 円	6,300 円



▼屋内温水プール指導の様子



令和5年度は24校に倍増

民間インストラクターの指導補助が加わることで、指導面・安全面で効果が高まっただけでなく、93.1%の児童が「楽しかった」と答えていることが何よりの効果だと考えています。今後も水泳指導の充実に向け取り組んでまいります。

スポーツ・イベント

スタジアム構想始動！

私学事業団総合運動場敷地取得へ

葛飾区では、子どもから高齢者までスポーツに親しめる環境づくりを進めています。スポーツ・イベントスタジアムは、スポーツをする・見る場としてだけでなく、イベント開催など地域活性化や防災拠点としても活用が可能です。

そこで、東新小岩にある私学事業団総合運動場を、将来的にスポーツ・イベントスタジアムとして整備するため、当該敷地の取得に向けた協定を、日本私立学校振興・共済事業団と締結しました。

今後のスケジュール(予定)

- ・令和5年12月 不動産売買契約
- ・令和6年 3月 不動産の引渡し

土地の取得後、スタジアムとして整備するまでは、この総合運動場を引き続き活用して、区民の皆様が利用できるようにしてまいります。

私学事業団総合運動場の現況

- ◆所在地 東新小岩一丁目
- ◆面積 約68,000㎡
- ◆設備等
・野球場 (1面)
・陸上競技場 (1面)
・テニスコート (8面)
・クラブハウス (1棟)

▼総合的な物価高騰対策を実施 第2次補正予算で約23億円▼

依然として電気・ガスや食料品等の物価高騰が続く中、区民生活や事業活動を支援するため、さらなる物価高騰対策を実施します。

- ◆LPガス料金助成
 - 対象 区内のLPガス利用者
 - 助成額 (一般家庭・事業者) 約3万世帯1利用者あたり
上限5,000円
- ◆中小企業等電気料金支援
 - 対象 高圧・特別高圧電力を利用する
中小企業、私立学校等
約1,700事業者
 - 助成額 電力使用量に応じて
20,500万円
- ◆商店街装飾灯の電気料金助成
 - 商店街の装飾灯への助成(電気料金を
1基8,400円(年間)に拡充)
- ◆公衆浴場の燃料費助成
 - 公衆浴場への助成(ガス料金を
上限225万円(年間)に拡充)
- ◆福祉施設等経営安定化支援
 - 対象
 - ①入所施設(特別養護老人ホーム、
障害者入所施設、病院等)
 - ②通所等施設(介護事業所、障害福祉
事業所、診療所、歯科診療所、薬局
保育所、学童保育クラブ等)
 - 給付額
 - ①は1事業所あたり30万円
 - ②は1事業者あたり10万円
- ◆プレミアム付き商品券追加販売
 - 発行総数 10万セット
 - プレミアム率 20%
 - 販売価格 1セット(12,000
円分)を10,000円で販売
 - 使用期間 令和5年11月1日から
令和6年1月31日まで
- ◆キャッシュレス決済ポイント還元
 - 対象 au PAY、d払い、楽天
ペイ、ほか調整中
 - 還元率 最大20%
 - 店舗 区内中小規模の店舗
 - 期間 令和5年12月1日から
12月31日まで

青木かつのり活動の記録

「青木かつのりツイッター」から、写真とコメントを抜粋しました。これからも、区民の皆様との連携・協働を進めてまいります！



【区内相模部屋との連携・協力協定】(2023.2.7)

九重部屋、二子山部屋、大島部屋と、地域振興やスポーツ振興など幅広い分野で連携協力を図る協定を締結しました。今後、3部屋と連携して相模大会の実施など相模と下町葛飾の魅力を発信していきたいと思ひます。



【かつしかふれあいRUNフェスタ開催】(2023.3.12)

堀切水辺公園で4年ぶりに「かつしかふれあいRUNフェスタ」が開催されました。今回は4,152名のランナーが、1kmコースからハーフマラソンまでの様々な種目に参加しました。



【協働まちづくり表彰式】(2023.3.27)

協働まちづくり表彰式を行いました。26団体と個人の皆さんです。ハード・ソフト両面の街づくりや福祉、文化、スポーツ、環境など、様々な分野で活動して頂いています。これからも宜しくお願いします！



【繊維 to 繊維で連携・協力協定】(2023.3.31)

(一社) テキスタイルサーキュラーネットワークと連携・協力に関する協定締結式を行いました。「繊維 to 繊維」に関する協定は全国初。葛飾区は古布の資源化率向上など繊維資源循環にも一層取り組んでいきます。



【ウィーン市フロリズドルフ区訪問】(2023.4.22)

フロリズドルフ区との友好都市提携確認の調印式に行ってきました。児童保護施設や小学校、葛飾区が贈った桜がある桜の森など多くの関連施設を見てきました。これからさらに交流を盛り上げてまいります！



【葛飾菖蒲まつり開催】(2023.6.4)

葛飾菖蒲まつりが、素晴らしい天気のもと4年ぶりに堀切菖蒲園と都立水元公園で開催されました。堀切菖蒲園では200種6,000株、水元公園では100種14,000株の色とりどりの花が咲き誇っていました！



【ハザードマップ説明会開催】(2023.6.17)

台風2号の影響による大雨では、中川と綾瀬川の上流で氾濫危険水位を超えました。ご承知のように線状降水帯による豪雨災害が増えています。雨の情報をしっかり把握して災害に備えてください！



【JR東日本(株)への要請活動】(2023.6.26)

JR東日本の深澤社長とお会いして、新金線の早期実現やJR金町駅の環境改善、新小岩駅ビル計画、常磐線の増便やバリアフリーなどについて直接要請しました。高齢化が進む中、本区の交通環境の充実が急務です。これからもしっかり取り組んでいきます。

青木かつのりツイッター



右のQRコードを読み取っていただくと、青木かつのりのツイッターを閲覧することができます。

